

# 小池おやじかわら版

## 第3回フットサル大会結果発表!

### 6年優勝はKNKSKMS!!

【小池小体育館(日本時間28日)】  
6月28日、第3回おやじの会主催フットサル大会が74人の参加者にて開催された。各学年熱戦を繰り広げた。優勝チームは以下のとおり

- 6年の部 KNKSKMS  
(本永 閑田、坂口、桑田、水上、玉村)
- 5年の部 HANA&4KBOYS  
(今井、斎藤、片桐、川内、齋京)
- 4年の部 参加者なし
- 3年の部 トライオンダイナス  
(長尾、福元、平井、本永、嶋原、本永母)
- 2年の部 ヲカキカズ  
(片桐、弓削、井上、吉田、片桐母)
- 1年の部 スーパースターズ  
(小林、石崎、安藤、阿部、直井、山本、阿部母)



5年の部は4チームの激戦区となったが、HANA&4KBOYSが最後には力

ママさんチーム、パスミスも5年の部に参戦。子供に交じりママさんの意地を見せました。  
6年の部は一騎打ちを制して、KNKSKMSが優勝。

2008年(平成20年)6月30日 月曜日

創刊号

小池おやじの会 発行  
会長 喜田直也

の差を見せた。

3年の部は、エニシキダイナスは念願の優勝を果たした。唯一の女の子チーム1年の部で男の子に負けじと奮闘。優勝したスーパースターズに善戦し、一番の声をあげた。

優勝した各チームはおやじチームの田沢重量級チームも次々と撃破。大会は子供たちの真剣なプレーとママさんの叫び、おやじさんの野太い声で盛り上がった。次回も企画しますので、また参加してください。

【会長コラム】  
アルキメデスの支点  
子どもを立派に育てるには、食事をきちんとあげる事。とはある奥様の話  
なるほど、簡単なようですが今の時代、共働きの家庭も多く、夫や家族の協力が無くしては難しいのではないのでしょうか。  
食への取り組みが、生活リズムや家族相互の関わりは大きい。

子供の笑顔のために  
おやじの笑顔のために  
そして家族の笑顔のために  
〜小池おやじの会〜  
<http://www.koike-oyaji.com>

日曜日の夕方は体育館でフットサル!  
17時もしくは18時から  
毎週実施中!  
詳しくは <http://www.koike-oyaji.com>

“学校へ行ってみよう”開催  
昨大好評の保護者向け企画の第2弾を開催します!  
開催日 7月5日(土) 16時30分〜18時  
場所 小池小ランテイルーム  
参加費 無料

教室や廊下に掲示されている、かわい  
い作品の中に我が子をさがし、ずいぶん  
低い手洗い場や、段差の小さな階段では、  
なんだか懐かしさを感じてしまう。そ  
んな学校へ、われわれ大人が足を運ぶ機会  
を作ろうと、おやじの会では昨年に引き続  
き、「山本秀行さん」を迎えての講演会を企  
画いたしました。  
山本秀行さんは、一人ひとりの個性を  
生かした生き方を指す「パーソナルプラ  
ンディング」のコンサルタントとして活躍  
されています。作詞家やコピーライターと  
して有名な『稲垣潤之』のWAKE UP、光  
TEIJIのKISS...等、有名なア  
ーティスト向けの作品も多数。(http://  
www.dad-garage.com)  
また忙しい本業と並行して、父親の子  
供に変わってきます。その意味で食  
卓は、「アルキメデスの支点」  
(物事を大きく動かす為の急所)  
ともいえますね。  
霊長類の研究をする山極寿一氏  
の書(暴力はどこからきたか)に  
よると、仲間と共に食事をするの  
は人間だけ、そこに人間ならではの  
の、お互いに分かち合う「家族」  
「社会」が形成された、とありま  
す。  
育てに関する講演も積極的に行われていま  
す。昨年の講演出では、『待つ子育て』  
『聴く子育て』。間接子育て』をキーワード  
に楽しいお話を頂きました。今年のテー  
マは「子どもの個性を伸ばす子育て」。目  
からうろこ、楽しくするためのお話がいっ  
ぱいです。  
仕事で忙しいお父さん! 家事でくた  
くたのお母さん! さあ! ひとつ一息土  
曜日の午後には気軽な気持ちで学校へ立ち  
寄って、山本秀行さんの楽しいお話をお聞  
きください。  
会員一同、皆様の来場を心よりお待ち申し  
上げます。また講演会終了後に懇親会も予  
定しておりますので、ご都合のつく方は是非  
ご参加ください!

心にももる一皿で家族の笑顔を引き出す主婦の皆様は、まさに一  
国の宰相に勝ると言えるでしょ  
う。  
小池おやじの会は、「子どもたちの  
笑顔のため」子どもを取り巻く  
厳しい環境の中で、「アルキメデ  
スの支点」となるべく活動をして  
まいりますので、保護者の皆様ど  
うぞ宜しくお願い申し上げます。

## 【会員紹介コーナー】 遠足ボランティア同行日記

(上野動物園・伴歩@3年日向子&1年真由子父)

5月15日木曜日ほれ。

今日はほくの40才のお誕生日。ぼくはお仕事をお休みして、娘の遠足と一緒に行くことにしました。娘の日向子は「え、おとうさん、くるの・・・げえ。」と言っていました。そんなおかまいなし。だってぼくが行きたいんだもん。

遠足ボランティアはほく以外ほみんなお母さんで13人くらい。仲良くなれるかなあ。ドキドキ。でも大丈夫。おやじの会でおやじ同士がお友達だったり、前から知ってるお母さんも来てました。

子供たちはもう出発が待ちきれなくて、ウキウキ、ワクワク。いろんな動物を見たい、さわりたい！友達とお話ししながらのお弁当が楽しみ。授業、勉強がなくてラッキー！子供たちの思いは様々です。

5組担当だったので、行きは洗足池駅まで一番最後。道路に広がらないように注意しながら、何が楽しみなのか子供たちと話ながら歩いていきます。

上野に着くと、動物園はもうまもなく。みんなの期待のふくらみも最高潮。

動物園では前半はみんな並んで順番に見学。人気があった

のはレッサーパンダ。ジャイアントパンダはいまいませんでした。パンダ人気は不滅です。

私のお気に入りは。カピバラくん。少し前にテレビ番組で見たのと同じでした。やつぱりボーツとしてました！子供たちと一緒にしゃいでした。



午後は自由行動。みんなひつじがさわられるふれあい広場へまっしぐら。そのあとは好き好きにいろんな動物を見に行ったり、鬼ごっこになったり。この間は、私は家から持ってきたトナカイの角のカチューシャ(クリスマスイベント用)を頭につけて、見回りに。目立つからいいだろうと思っただけですが、子供たちは見るなり、

「あー、買ったの！？ずるーい！！」なるほど。そう思うか。いやいや、家から持ってきたんだってば。でもこのおかげ？でいまでも朝と子供に会うと、「あつ、角の人！」って声をかけられます。



自分の子供だけでなく、他の子供たちと話して、普段とは違う顔が見れ、楽しかったです！お父さんも日々忙しいとは思いますが、一度は参加してみたいかがでしようか。

## 【会員紹介コーナー】 小池小とおとんとおやじの会とボクと

(柿崎寛明@中学2年)

僕は現在中学2年生です。僕が小学校1年生の時に、すでに「おやじの会」はあり、父が入っていたので、僕も卒業するまでの6年間、色々な行事に参加しました。

中でも一番印象に残っているのが「サスケ」です。

テレビで見て「やりたいな」と思っていたことをやれたこと、そして2年生の時学年で1位になったからです。その時もらった賞状

はずっと机の前に貼ってあります。

また、洗足流れの掃除も思い出に残っています。なぜなら親と一緒にボランティアなど、なかなかやれないからです。

「おやじの会」のお父さんたちは、いつでも真剣だし、どんな時もお父さんたちが色々声をかけてくれ、嬉しかったです。

### おやじの会メンバー(敬称略)

- 1年: 稲葉、鎗木、田沢、玉村、伴
  - 2年: ( 玉村)、小宮、西田
  - 3年: 平井、井石、稲葉、嘉本、喜田、田沢、沼田、伴、吉沢
  - 4年: 御子神、阿部(征)、井石、仲、松本
  - 5年: 井原、川内、木内、徳田、松原
  - 6年: 桑田、阿部(富)、阿部(征)、喜田、玉村、月村、平井、堀川
- OB: 大和、秋友、上原、大恵、柿崎、川手、神鞭、渋谷、鈴木、高橋、高原、野村、長谷川、松井、松本(光)、渡邊、和田  
( は学年連絡担当です。 )

おやじの会に興味のある方は、メンバーに気軽に声をお掛け下さい。一緒に子供たちとの楽しいおやじならではのイベントを作っていきますよ。

### ～編集後記～

梅雨入りして紫陽花がきれいです。北海道ではラベンダーの季節ですね！さて、「小池おやじかわら版」創刊号です。不定期ですが、小池おやじの会の活動を中心にお知らせしていきますので、お楽しみに！  
編集委員：平井、田沢、吉澤、伴

### 【今後のイベント】

- 学校へ行ってみよう企画
- 7月5日(土) 16:30-18:00
- ≡ 小池小ランチルーム
- 全体会
- 7月12日(土) 19:00-21:00
- ≡ 小池小ランチルーム
- フットサル7月
- 7月6日(日) 17:00-
- 7月13日(日) 18:00-
- 7月20日(日) 18:00-
- 7月27日(日) 18:00-
- ≡ 小池小体育館
- 洗足流れ清掃
- 7月27日(日) 13:00-15:00
- ≡ 洗足流れ
- バーベキューパーティー
- 8月頃予定
- おやじと秋祭り
- 11月2日(日) ≡ 小池小
- 是非ご参加ください！